PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
関西センター
2025 年 10 月 3 日

開発途上国11カ国の文化遺産観光のプロが来日！

～滋賀・京都・大阪・和歌山で学ぶ持続可能な観光のヒント～

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、研修プログラム「文化遺産および地域社会と共生する持続可能な観光開発」を、9月24日から10月29日まで実施します。ヨーロッパ・アジア・アフリカ・中南米・大洋州11カ国の行政官や文化遺産観光の専門家が来日し、滋賀・京都・大阪・和歌山の現場を巡りながら、地域資源を活かした持続可能な観光のあり方を学びます。

観光産業は、自然や文化などの国内資源を活用することで外貨を獲得し、幅広い関連分野に雇用を生むことができる、開発途上国にとって極めて有望な産業です。一方で、観光資源を持つ多くの国々では、環境破壊や文化・自然遺産の損壊、地域住民の生活への影響といった課題を抱え、貴重な遺産を十分に活用できていない現状があります。本研修は関西の長い歴史の中で積み重ねられてきた文化遺産等の地域資源を活かした観光の知見を伝え、各国の持続可能な観光開発に貢献することを目的としています。

地域主体の文化財保全や観光開発に関する講義や視察に加え、観光マーケティングが専門の立命館大学・石崎祥之教授の指導によるフィールドワークも実施予定です。関西の実践的な知見から、各国の観光リーダーたちが何を学ぶのか。ぜひ取材ください。

【実施概要】
取材可能なプログラム・日時 （※雨天の場合変更になる可能性があります。）

日付	開始	終了	内容	場所
10/8（水）	9:00	18:00	和歌山のまち歩き	熊野古道
10/13（月）	16:00	18:00	大阪のまち歩き	中之島・道頓堀
10/15（水）	13:00	16:00	滋賀のまち歩き	近江八幡市 （八丁堀巡り、日牟禮ヴィレッジ、たねや）
10/17（金）	13:00	17:00	世界遺産都市としての二条城	立命館朱雀キャンパス（13:00-15:00）、二条城（15:30-17:00）

参加者の出身国	ラオス、インド、キリバス、サモア、グアテマラ、エジプト、チュニジア、エチオピア、タンザニア、北マケドニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ ※観光関連省庁、政府観光局、地方自治体職員他
言語	英語（通訳あり）

【問い合わせ先】 ※取材をご希望の場合は必ず事前にご連絡ください。
JICA 関西 研修業務課 上野 美咲 （うえの みさき）
TEL 078-261-0383（代表） e-mail Ueno.Misaki@jica.go.jp